

## 展示紹介

# 特別展 頼重と光圀

—高松と水戸を結ぶ兄弟の絆—

平成23年2月5日（土）～3月21日（月）

今年は、水戸藩2代藩主徳川光圀が藩主に就任して350年目にあたります。光圀は「水戸黄門」として広く知られていますが、自ら中心となって『大日本史』編さんを始めました。この事業は、わが国の歴史学史に大きな足跡を残したのみならず、幕末に大きな影響を与えた「水戸学」を生み出しました。

自由奔放な少年時代を過ごしていた光圀が学問に目覚めたのは、司馬遷の『史記』伯夷伝を読んだことでした。伯夷（はくい）と叔斉（しゅくせい）の兄弟愛を描いたこの物語は、兄をさしおいて藩主を継ぐことになっていた光圀に大きな感動を与えたのです。

そして光圀は藩主に就任するにあたり、つぎの藩主は高松藩主である兄松平頼重の長男に継がせることを明らかにします。兄こそが水戸藩主を継ぐべきであった、という思いを次の世代で実現させることとなります。

一方、頼重は家光によって下館5万石の大名に取り立てられ、のちに讃岐高松12万石に移されます。そして父頼房、弟光圀からは、水戸徳川家伝来の宝物がいくつか贈られました。

この高松松平家は、会津松平家、彦根井伊家とともに歴代当主が江戸城内溜間（たまりのま）に詰め、将軍の政務の諮問に応じるという重要な役割を担うこととなります。

本展示では、こうした頼重と光圀をめぐる人びとやゆかりの品を通して、兄弟の生涯を紹介していきます。展示の構成はつぎのとおりです。

### 序章 高松松平家の名宝

徳川頼房、光圀から頼重に贈られた名宝を紹介します。

### 第1章 兄弟の周辺

頼重、光圀兄弟に関わる人びとと時代背景を紹介します。

1. 兄弟の系譜
2. 頼重、光圀の兄弟姉妹
3. 将軍家光と頼房
4. 寛永という時代

### 第2章 兄をさしおいて

光圀が水戸藩の跡継ぎとなっただけでなく、いさつと歴史書『史記』との出会いを紹介します。

1. 世子決定
2. 伯夷と叔斉

### 第3章 高松藩主松平頼重

高松藩主となった頼重と高松の地理的重要性、高松藩の地位を紹介します。

1. 大名取立
2. 高松へ
3. 頼重の人物像
4. 高松松平家の家格と役割

### 第4章 水戸藩主徳川光圀

水戸藩主を継いだ光圀について、『大日本史』編さんなどの事績と人柄をあらわす書状を紹介します。

1. 『大日本史』編さん
2. 綱吉と光圀
3. 光圀の人物像
4. 引退

### 終章 綱條と頼常

頼重の子で水戸藩を継いだ綱條（つなえだ）、光圀の子で高松藩を継いだ頼常（よみつね）について紹介します。

1. 頼重の子・綱條
2. 光圀の子・頼常

●おもな見所

1. 国宝をはじめとする貴重な文化財を公開します。

●国指定

国	宝	藤原佐理筆詩懷紙（平安時代）	香川県立ミュージアム（3月のみ）
重要文化財		法華経（平安時代）	香川県立ミュージアム（3月のみ）
重要文化財		花園天皇宸翰御消息（南北朝時代）	香川県立ミュージアム（2月のみ）
重要文化財		光厳天皇宸翰御奉納心経（南北朝時代）	香川県立ミュージアム（2月のみ）
重要美術品		後陽成天皇宸翰（桃山時代）	香川県立ミュージアム（3月のみ）
重要美術品		後水尾天皇御加筆（江戸時代）	香川県立ミュージアム（2月のみ）
重要文化財		太刀 銘則包（鎌倉時代）	水戸東照宮
重要文化財		名古屋城御湯殿書院上段之間天井板絵	名古屋城総合事務所（2月牡丹・3月瓜花）

●県指定

香川県		高松城下凶屏風	香川県立ミュージアム（3月のみ）
茨城県		総毛引糸威具足（伝・徳川家康所用）	水戸東照宮
茨城県		太刀 銘吉房 附糸巻太刀拵	水戸東照宮
茨城県		日乗日記	本山久昌寺

●市指定

高松市		松平頼重領知目録	香川県立ミュージアム（3月のみ）
高松市		領知宛行状案	香川県立ミュージアム
水戸市		東照宮銅釣燈籠	水戸東照宮
水戸市		狩野興也「旭日に波図」	水戸市立博物館
水戸市		左近詠草	個人

2. 新しく発見された資料を初公開します。

- ・水戸城三階櫓棟札写
- ・西山御山家絵図（西山荘が建設された時の図面）



国宝 ふじわらすけまさし かいし 藤原佐理筆詩懷紙（平安時代）  
香川県立ミュージアム蔵  
「三蹟」で知られた和様書道の名手の書。



とくがわみつくにめんよう 徳川光圀面容 本山久昌寺蔵  
光圀が細工師に彫らせた自分の顔。

## 期間中の主な展示関連行事（行事は全て要入館券）

**講演会 「徳川光圀の人間像」** 講師 鈴木 暎一 氏（常磐大学教授）

2月27日（日曜日）午後2時～4時

**ミニ講座** 各日とも午後2～3時 担当 永井 博（当館学芸課長）

2月12日（土曜日）「兄弟同様の間柄－頼房と家光－」

19日（土曜日）「出生の秘密－頼重と光圀－」

3月 5日（土曜日）「頼重、高松へ」

12日（土曜日）「高松松平家の役割」

**展示解説** 各日とも午前11時～、午後2時～ 担当 永井 博（当館学芸課長）

2月 6日（日曜日）、13日（日曜日）、20日（日曜日）

3月 6日（日曜日）、13日（日曜日）、20日（日曜日）

## 期間中のその他の行事（参加無料：開館時から整理券を配布します）

**こども歴史教室 「水戸黄門ってどんな人？」**

2月11日（金曜日）午前11時～、午後1時～、午後3時～

定員：各回50名（小学生向け：親子での参加をお待ちしています）

**マッチ棒のお雛様づくり**

2月20日（日曜日）午後1時30分～

定員：先着20名

**十二単試着体験**

2月26日（土曜日）午後1時30分～

定員：先着20名（身長150cm以上の女性の方）